

令和 2 年 6 月 16 日現在

機関番号：62618

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K02857

研究課題名(和文)いきいきとした介護のオノマトペ使用のための学習映像教材の開発に関する研究

研究課題名(英文) The research on development of learning video materials using onomatopoeia for lively care

研究代表者

神村 初美 (KAMIMURA, Hatsumi)

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所・日本語教育研究領域・プロジェクト非常勤研究員

研究者番号：80764654

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：外国人介護人材及び受け入れ側である介護施設の学習支援として、介護のオノマトペを学び、それらを適切に運用するためにモバイル版学習アプリ「おのまとこ」を開発し、その学習効果を検証した。「おのまとこ」は、外国人介護人材にとって難易度は高いが、利用者との相互理解において必要不可欠な介護のオノマトペの言語運用を導き、利用者側だけでなく日本人介護職側とのコミュニケーションにも活かされ、外国人介護人材が生き生きと日本の介護現場に参画していく「足場がけ」にも繋がるという意義が確認された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

言語学や日本語教育学でオノマトペは、感覚的で主観的な言葉であるところから研究しにくく、もっとも遅れている研究分野の一つと指摘されている。しかし、母語話者にとっては理解しやすく、簡単に言い表すことができる便利な言葉である。このオノマトペにおける研究と現実との乖離を、介護のオノマトペという視点から繋ぎ、発展させた学術的意義は大きい。また、本研究によって、外国人介護人材の介護のオノマトペの適切な運用を促した点は、超高齢社会にある日本の有用な介護人材の育成に資するという社会的意義の創出につながった。

研究成果の概要(英文)：I have developed a mobile learning application "ONOMATOKO" to learn onomatopoeia of care as a learning support for foreign care workers and nursing care homes that accept them, and verified the learning effect. The onomatopoeia is difficult for Japanese language learner, but "ONOMATOKO" leads to the language operation of onomatopoeia for care, which is essential for mutual understanding with a person who receives care. And also It was confirmed that "ONOMATOKO" would be useful not only for communication with a person who receives care but also for communication with Japanese care workers, and would lead to "scaffolding" in which foreign care workers actively participate in Japanese care sites.

研究分野：専門日本語教育、介護のオノマトペ、介護の日本語教師育成、協働学習

キーワード：オノマトペ 映像教材 介護の日本語教育 外国人介護従事者 コミュニケーション モバイルアプリ 自学自習  
音声教材

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

## 様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

### 1. 研究開始当初の背景

#### (1) 介護現場における介護のオノマトペの実態と日本語教育との関係性

介護施設においてオノマトペは頻繁に使用され、特に認知症を患っている入所者との意思疎通では便宜的に使用されるなど、重要な役割を担う。しかし日本語教育においてオノマトペは、感覚的な表現語彙であるところから一般的に外国人学習者には難しいとされ、「日常生活におけるオノマトペのその使用頻度や重要性に見合うだけの十分な学習者指導がなされているとは言い難い（三上 2006）」<sup>①</sup>現状がある。介護のオノマトペにおいては、介護現場でのオノマトペ使用の有用性が示されるとともに、外国人介護人材の「オノマトペの不理解」の指摘も見られる。しかし、その指導においては、ほとんど手付かずの状態であった。

#### (2) 申請者の研究成果

申請者は 2012 年より EPA 介護福祉士候補者（以下、候補者）を対象とした施設着任後の日本語研修（以下日本語研修）<sup>②</sup>に主担当教員として携わり、三上（2006）が明らかにした基本オノマトペに基づく授業をパイロット的に行っていた。ここから誤用例を抽出、整理し、介護のオノマトペの指導上の課題の一端を明らかにした。検証の結果、以下に配慮することで、違和感や不快感を介在させず、誤解を与えない、介護の場面に適したオノマトペの作例につながるものが考察された。

- ① 介護現場でのオノマトペ使用の文脈や背景と共に必要条件を合わせ明確に提示する。
- ② 正用と誤用の両方の例文を提示し何がどのように異なるのかを具体的に示す。
- ③ ①と②を輻輳的にオノマトペ指導に取り入れる。

#### (3) 研究課題への着想

上記の(1)と(2)の条件を満たす学習支援としては、多角的な情報から場面の文脈や背景とそこに提示される必要条件を理解することができる映像教材という形態が適当であると考えられた。ここから、介護の内容を重視した適切な介護のオノマトペ使用を促すことを可能とする学習映像教材の開発の着想に至った。

### 2. 研究の目的

(1) 外国人介護人材及び受け入れ側である介護施設の学習支援として、介護のオノマトペを学び、それらを適切に運用するための学習映像教材を開発し、その学習効果を検証する

(2) 超高齢社会にある日本の有用な介護人材となり得る外国人介護人材、及び施設での学習支援に資する。

### 3. 研究の方法

申請者が携わる日本語研修の候補者及び施設における調査資料を、映像教材作成のための指標基礎資料としデータベースを構築した。

#### (1) H29年度 研究方法

① 介護の基本オノマトペの選定とその場面、及び必要条件の解明①-「基礎データ」検討段階

##### (a). 介護現場で頻出するオノマトペ、及びその使用場面と必要条件の抽出

日本語研修に参加している候補者及び施設に協力を仰ぎ、介護のオノマトペ使用の必要条件に関するヒアリング調査を中心に行った。ここから、基本介護のオノマトペ、およびそ

の使用場面と必要条件を抽出した。

(b). 候補者による作例オノマトペの正用・誤用の実態調査とその分析

日本語研修に参加している候補者のオノマトペ作例から正用・誤用を検証しその特徴を分析した。ここに、以前パイロット的に行った同調査のデータと合わせた。

(c). (a)と(b)の統合データから学習映像教材のデータベース構築のための基礎データ(以下「基礎データ」)の作成

(a)と(b)を合わせ「基礎データ」を検討した。また、モンゴル国海外研究協力者のもと、オノマトペ習得事情を把握する現地調査を行い、「基礎データ」に反映させた。

(2) **H30年度 研究計方法**

② 介護の基本オノマトペの選定とその場面、及び必要条件の解明②-「基礎データ」確定段階

(d). 介護の基本オノマトペ及びその場面と必要条件の選定

公開されているオノマトペの学習映像教材と照合し、検討を加え、確定した。

③ 介護のオノマトペの学習映像教材のためのデータベース(以下「データベース」)構築と検討

(e). 「データベース」コンテンツの構築

「データベース」に用いる、例文、会話、演習問題を確定した。

(f). 介護のオノマトペ学習映像教材試作のための検討

映像作成は業者委託としたため、試作のための検討会を業者側を交え、適宜行った。

(g). 「データベース」の翻訳

マルチリンガル化を図るための翻訳を各母語話者に依頼した。

④ 介護のオノマトペの学習映像教材の試作(平成31年度の計画であったが前倒して進めることが叶った)

(h). 介護のオノマトペの学習映像教材の設計と制作

上記(d)、(e)、(f)、(g)をもって、教材を設計し、第一次試行版を業者委託で行った。

(3) **H31年度 研究方法**

⑤ 介護のオノマトペの学習映像教材第一次試行版の評価と研究成果の公開

制作した第一次試行版を公開し、各施設および教育実践現場での試行を依頼。フィードバックを得た。各種研究会で研究発表するとともに論文文化を図った。

#### 4. 研究成果

得られた研究成果を各年度ごとに示す。

(1) 平成29年度は、「介護の基本オノマトペの選定とその場面及び必要条件の解明」という指針のもと、1). 介護現場で頻出するオノマトペ及びその使用場面と必要条件の抽出、2). EPA候補者による作例オノマトペの正用・誤用の実態調査とその分析、3). 1). 2). の統合データから学習映像教材のデータベース構築のための基礎データの作成、を行った。

1)においては、まず、介護現場のオノマトペは、想定される介護の場面や動作によって使用されるタイプ(以下「場面・動作依存」と、行為の目的によって使用されるタイプ(以下「使用用途依存」)に上位分類されることが分かった。また、「場面・動作依存」は、【口腔ケア】【服薬・投薬ケア】【トイレ介助】【食事介助】に、「使用用途依存」は、【痛みの伝達】【利用者の様子や状態の確認】【状況の伝達】【利用者からの訴え】【作業の指示】に下位分類された。

「場面・動作依存」は、特定の場面での被介護者の機能回復を促す動作性への動機付けが示された。「使用用途依存」は、特に被介護者から介護者に向けられる「利用者からの訴え」で[痛みのオノマトペ]が顕著に見られ、その重要性が窺われた。

外国人介護人材からは、この「利用者からの訴え」の[痛みのオノマトペ]が分からないと示されたところから、[痛みのオノマトペ]の不理解の実態が本研究によって具体的に示された。また、経験豊富な介護職員は、専門的な知識に裏付けられた経験知をもって、介護のオノマトペを柔軟に操作していることが分かった。

2).3).においては、EPA 候補者 64 名分の既存データから正用・誤用を検証し、その結果をデータ化した。

急きょ 2017 年 9 月、モンゴル国において技能実習生への介護のオノマトペ支援を視野に入れたオノマトペ習得状況における実態調査および技能実習生送り出し機関での見学とヒアリング調査を行った。これは 2017 年 11 月 1 日の技能実習制度「介護」枠の施行に伴い、モンゴル国が覚書を締結する（2017 年 12 月締結）との状況に基づき、技能実習生の来日を見越した対応を図ったものである。本調査の結果から、体の症状を表す「ごろごろ」「ずーん」は、モンゴル人超級日本語学習者による高い類推力をもってしても認識には浅い理解や揺れが見られ、①既習事項の功罪、②体調を表すオノマトペは未習事項、③モンゴル語で介護の言葉は僅少、の影響から意味把握には限界がある、という習得の実態が示された。また、来日前研修ではオノマトペについての学習は皆無に等しいことが分かった。ここから、来日後研修において、いち早く「介護のオノマトペ語彙」を、①既習事項の功罪、②モンゴル語で介護の言葉は僅少という背景を踏まえながら指導する必要性が窺われた。

(2) H30 年度は、H29 年度の「基礎データ」と「データベース」から、学習アプリ「おのまとこ」の開発に至り、パイロット的なフィードバックも加えた。

H29 年度の「基礎データ」では、「利用者からの訴え」で「痛みのオノマトペ」が顕著に見られるとともに、これら「痛みのオノマトペ」が外国人介護従事者は最も分からないと示されたところから「痛みのオノマトペ」で「基礎データ」を確定した。H29 年度モンゴル調査と同様の調査をインドネシアで行い、特に「ごろごろ」は両国の調査で突出した不理解が判明したため「基礎データ」に 3 種類の「ごろごろ」をもって反映させた。具体的には、介護現場での使用頻度上位 7 語彙、「目がごろごろ」「のどがごろごろ」「おなかがごろごろ」、「むかむか」「がんがん」「ちくちく」「ずきずき」を基本部とし、「ぱんぱん」「ひりひり」「ぴりぴり」「ずーん」「きりきり」の 5 語彙を拡張部とし「データベース」も構築した。

国内事情を鑑みこれらの内の基本部の開発を急いだ。学習アプリは、手軽な自学自習を可能とするためスマートフォン用とし、コンテンツには、アカデミアシステムズのコンピュータ (AI を用いた Chat Bot) と、アプリプラットフォームを適用させ、「おのまとこ」と命名した。英語、中国語、インドネシア語、ベトナム語、日本語による 5 か国語版仕様とした。「おのまとこ」の特長は以下の 3 点である。なお、本報告の巻末に「おのまとこ」のアプリアイコン、ビデオによる解説画面、アプリ練習画面を写真で示す。

- ①視覚、聴覚情報を駆使した音感のイメージビデオ、使い方の解説、介護現場での会話モデルの動画によってオノマトペのイメージや使用場面を分かりやすく提示。
- ②コンピュータ (AI を用いた Chat Bot) によりロールプレイ形式での対話練習が可能。
- ③間違い部分が分かりやすく指摘され正解度を % で定量表示させる機能によって、繰り返し学習の動機づけを高められる。

(3) H31 年度は、1)前倒して開発した「おのまとコ」の試用試験とデモンストレーション、2.) 研究成果を反映させた研修の実施や研究発表、および論文化から研究成果の公開を図った。まず、試用試験はネットでの広報に応じた介護関係者などの 45 モバイル端末を、デモンストレーションは各学習会場で EPA 候補者合計 35 名を、それぞれ対象とし行った。その結果、①介護のオノマトペ教材に対するニーズは高い、②「おのまとコ」上のビデオは見ているが練習問題はあまりしていないことが分かり、モバイル教材における練習問題の提示の工夫という課題が残された。次に、本研究成果は日本語教育学会など各種の研究会で広く研究発表を行うとともに、書籍化、論文化を図った。

(4) 本研究期間全体を通じた検証から、「おのまとコ」は、外国人介護人材にとって難易度は高いが、施設利用者との相互理解において必要不可欠な介護のオノマトペを、a) 視覚や聴覚を駆使することによって習得しやすくし適切な言語運用に導く、b) 介護現場での円滑なコミュニケーションを大きく促進させ外国人介護人材と利用者との心通う「場」を育む、c) 介護する側・される側だけでなく、日本人介護職員とのコミュニケーションにも活かされ、外国人介護人材が生き生きと日本の介護現場に参画していく「足場がけ」にも繋がるという意義が確認された。一方、「おのまとコ」は予算の関係から、「痛みのオノマトペ」のみの提示に留まっている。今後、構築したデータベースを生かし、食事介助を円滑に進める「食感・味覚のオノマトペ」のカテゴリーを追加し充実を図りたい。

「おのまとコ」アプリアイコン



ビデオによる解説画面



「おのまとコ」アプリ練習画面



<引用文献>

- ①三上京子、日本語教育のための基本オノマトペの選定とその教材化、I C U 日本語教育研究、3 号、2006、49-63
- ②東京都と首都大学東京による「日本とアジアの将来を担う看護介護人材の育成事業」

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計24件（うち査読付論文 21件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 12件）

1. 著者名 神村初美	4. 巻 40
2. 論文標題 介護のオノマトペの分類からみるその機能と背景 介護職員と外国人介護従事者への調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『日本語研究』首都大学東京・東京都立大学 日本語・日本語教育研究会	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 神村初美・野田尚史	4. 巻 1
2. 論文標題 介護福祉士国家試験で誤答 を誘発する問題文とその読み 誤り インドネシア人 EPA 候補 者に対する調査から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『2020年度日本語教育学会春季大会予稿集』	6. 最初と最後の頁 201-206
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 神村初美	4. 巻 1
2. 論文標題 モンゴル語・インドネシア語 母語話者は痛みのオノマトペ をどのように捉えるのか 介護のオノマトペの調査から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『2019年度日本語教育学会秋季大会予稿集』	6. 最初と最後の頁 178-184
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 神村初美	4. 巻 1
2. 論文標題 外国人介護職への日本語教育者として思うこと	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『第18回日本自立支援介護・パワーリハ学会大会 予稿集』	6. 最初と最後の頁 39-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西郡仁朗	4. 巻 172
2. 論文標題 介護福祉の日本語教育の現状と支援者の育成 -介護の日本語Can-doステートメントを中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『日本語教育』日本語教育学会	6. 最初と最後の頁 18-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西郡仁朗	4. 巻 1
2. 論文標題 介護福祉分野で求められる日本語能力と試験・研修	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『2019年度日本語教育学会春季大会予稿集』	6. 最初と最後の頁 49-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小平めぐみ	4. 巻 1
2. 論文標題 技能実習生の入国前における自立支援介護の導入の試み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『2019年度日本語教育学会春季大会予稿集』	6. 最初と最後の頁 45-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大山佳子、小平めぐみ	4. 巻 13 (1)
2. 論文標題 短期入所生活介護・短期入所療養介護 (ショートスティ) における自立支援介護の実態に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『自立支援介護・パワーリハ学』	6. 最初と最後の頁 38-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuko FUJIO. Yoshiko ENOMOTO. Kazutoshi FURUKAWA . Megumi KODAIRA.Noriko OGAWA.	4. 巻 16
2. 論文標題 ORIGINAL ARTICLE A Current Status of Care Plans for Independent Excretion in Japan 's Long-term Care Insurance Services	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 "Asian Society of Human Services "	6. 最初と最後の頁 45-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 神村初美・鈴木元	4. 巻 Vol.25.No.2
2. 論文標題 介護のオノマトベ学習アプリ「おのまとこ」の開発と試行 痛みのオノマトベを中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『日本語教育方法研究会誌』	6. 最初と最後の頁 pp128-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 神村初美	4. 巻 7月臨時増刊号
2. 論文標題 外国人材との円滑なコミュニケーションを考える-オノマトベの視点から-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『月刊地域ケアリング7月臨時増刊号』	6. 最初と最後の頁 pp.120-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小原寿美・西郡仁朗・古川嘉子・神村初美・平井辰也	4. 巻 1
2. 論文標題 外国人介護人材に対する日本語教育と職場適応の現状と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考えるインドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung予稿集』	6. 最初と最後の頁 pp.5-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 植田祐太郎・小平めぐみ	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 特別養護老人ホームに入居する要介護高齢者の日常的に示す一般的な高齢者の症状に関する実態調査～便秘症状を中心に～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『自立支援介護・パワーリハ学』	6. 最初と最後の頁 pp.2-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazutoshi FURUKAWA ,Megumi KODAIRA, Yuko FUJIO, Yoshimi SAKATA,Takahito TAKEUCHI	4. 巻 14
2. 論文標題 Factors Affecting Discharge to Home of Geriatric Health Services Users:An Analysis of Physical Conditions and the Contents of Care Received	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 "Asian Society of Human Services "	6. 最初と最後の頁 pp.1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神村初美	4. 巻 24
2. 論文標題 モンゴル人日本語学習者のオノマトベ学習における一考察 介護のオノマトベを中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『日本語教育方法研究会誌』Vol. 24 (2018) No. 2	6. 最初と最後の頁 pp.116-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 神村初美	4. 巻 1
2. 論文標題 「オノマトベの力」意識化を	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 シルバー新報 2018年4月27日 社会面 8面	6. 最初と最後の頁 pp.8-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神村初美	4. 巻 1
2. 論文標題 オノマトペの使い方	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本語教育学会 『2017年度日本語教育学会春季大会予稿集』	6. 最初と最後の頁 pp.24-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 神村初美	4. 巻 1
2. 論文標題 外国人介護人材のための持続可能な日本語教育	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本語教育学会 『2017年度日本語教育学会春季大会予稿集』	6. 最初と最後の頁 pp.245-250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 神村初美	4. 巻 1
2. 論文標題 介護の「日本語教育」深める	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 シルバー新報 2017年8月4日 社会面 5面	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西郡仁朗	4. 巻 17
2. 論文標題 遠隔教育とe-Learningによって広がる日本語教育の可能性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大韓日本文化學會 『日本文化論叢』、第17輯	6. 最初と最後の頁 pp.85-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小平めぐみ	4. 巻 1
2. 論文標題 新しい介護福祉養成教育に関する調査研究報告 判断能力を高める主体的学びによる管理介護士の養成	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 公社日本介護福祉士養成施設協会	6. 最初と最後の頁 p66-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保明人、小平めぐみ	4. 巻 11
2. 論文標題 介護職員の自立支援介護に対する意識に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 自立支援介護・パワーリハ学会	6. 最初と最後の頁 pp8-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小池大史、小平めぐみ、井上義行	4. 巻 11
2. 論文標題 介護老人福祉施設における機能訓練指導員の業務実態に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 自立支援介護・パワーリハ学会	6. 最初と最後の頁 pp26-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計34件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 神村初美・野田尚史
2. 発表標題 介護福祉士国家試験で誤答 を誘発する問題文とその読み 誤り インドネシア人 EPA 候補 者に対する調査から
3. 学会等名 2020年度日本語教育学会春季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 モンゴル語・インドネシア語 母語話者は痛みのオノマトペ をどのように捉えるのか 介護のオノマトペの調査から
3. 学会等名 2019年度日本語教育学会秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西郡仁朗・石井清志・奥村匡子・野村愛・高野駿
2. 発表標題 介護の専門日本語教育のデジタルコンテンツと実践報告
3. 学会等名 2019年度日本語教育学会秋季大会 交流広場
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 外国人介護人材の受け入れと日本語教育支援
3. 学会等名 日本語教育学会支部活動教師研修・鹿児島大学（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小平めぐみ・八幡泰徳・金智賢・バトナサン バトゲレル・神村初美
2. 発表標題 外国人介護職の受け入れと育成
3. 学会等名 第18回日本自立支援介護・パワーリハ学会大会 パネルセッション（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西郡仁朗, 小原寿美, 平井辰也, 小平めぐみ
2. 発表標題 外国人介護人材のキャリア形成における現状と課題 よりよい受け入れの在り方とは
3. 学会等名 2019年度日本語教育学会春季大会 パネルセッション
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 医療福祉人材のための日本語教育 介護のオノマトベとタメ語を中心に
3. 学会等名 平成30年度 国立国語研究所日本語教師セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 神村初美 鈴木元
2. 発表標題 介護のオノマトベ学習アプリ「おのまとこ」の開発と試行 痛みのオノマトベを中心に
3. 学会等名 日本語教育方法研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 EPA 介護士のための内容重視の批判的言語教育の試みー外国人介護人材のための内容重視の日本語教育を目指してー
3. 学会等名 批判的言語教育国際シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 介護オノマトペ教育の必要性について
3. 学会等名 アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考えるインドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 看護・介護の日本語の視点から-職場のコミュニケーション
3. 学会等名 アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考えるインドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田玲子・神村初美
2. 発表標題 介護の事例をもとに職場の問題解決プロセスを体験する
3. 学会等名 アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考えるインドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小原寿美・西郡仁朗・古川嘉子・神村初美・平井辰也
2. 発表標題 外国人介護人材に対する日本語教育と職場適応の現状と課題
3. 学会等名 アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考えるインドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田玲子・近藤彩・金孝卿・神村初美
2. 発表標題 ピア・ラーニング(協働学習)としてのケース学習 - 新たな応用の可能性を探る
3. 学会等名 アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考えるインドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西郡仁朗・古川嘉子
2. 発表標題 新たな日本語テスト開発のための『JF日本語教育スタンダード参照介護の日本語Can-Doステートメント(KCDS)』の開発
3. 学会等名 アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考えるインドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 奥村匡子・野村愛・奥村恵子・加藤真実子・西郡仁朗
2. 発表標題 教室内と教室外をつなぐ場のデザインの重要性ー介護の専門日本語教育の実践を通して
3. 学会等名 2018年日本語教育国際研究大会(ICJLE), イタリア・ベネチア(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小平めぐみ
2. 発表標題 特別養護老人ホームに入居する要介護高齢者の便秘とケア内容の関連
3. 学会等名 第17回日本自立支援介護・パワーリハ学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小原寿美・小平めぐみ
2. 発表標題 介護・看護セミナー 日本における介護とは何かー看護との違い及び受け入れ制度の概要ー
3. 学会等名 アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考えるインドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 神村初美、劉永亮
2. 発表標題 モンゴル人日本語学習者のオノマトペ学習における一考察 介護のオノマトペを中心に
3. 学会等名 日本語教育方法研究会 第50回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤奈津美、江原美恵子、小笠恵美子、神村初美、鈴木綾乃、中尾桂子
2. 発表標題 学習者とともにつくる実践の『ともにつくる』とはなにか
3. 学会等名 アカデミックジャパニーズ研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 遠藤織枝、神村初美、三枝令子、村井香織
2. 発表標題 介護現場のコミュニケーションを円滑にするために
3. 学会等名 日本語教育学会 2017年度日本語教育学会春季大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 外国人介護人材のための持続可能な日本語教育 EPA介護士を起用した「日本語アシスタント」の試みを通して
3. 学会等名 日本語教育学会 2017年度日本語教育学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 神村初美、藤本かおる、今村圭介、三橋麻子
2. 発表標題 『耳と目でおぼえる介護の漢字』自学自習用音声付き教材の開発
3. 学会等名 日本語教育支援システム研究会 (CASTEL/J) CASTEL J2017 第7回国際会議 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 介護のオノマトペへの自然習得における一考察 EPA 候補者へのヒアリング調査を通して
3. 学会等名 日本語教育学会 Net-J 看護と介護の日本語教育研究会 第15回例会
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 介護の専門日本語教育を初級に取り入れる 場面・語彙の組み込み方を中心に
3. 学会等名 モンゴル国 ウランバートル 国際交流基金 モンゴル日本人材開発センター (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 専門日本語教育にピア・ラーニングを用いる可能性
3. 学会等名 モンゴル国 ウランバートル 国立モンゴル教育大学日本語教育学科(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 神村初美
2. 発表標題 『ハットとする』と『ホットとする』って何がどう違うんですか? - 介護のオノマトペを考える
3. 学会等名 日本語教育学会 Net-J「看護と介護の日本語教育研究会」「第4回介護の日本語教育に携わる教師のための教師研修」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西郡仁朗
2. 発表標題 遠隔教育によって広がる日本語教育の可能性
3. 学会等名 『国際シンポジウム 越境する日本語学習における遠隔教育の現状と可能性』 韓国慶北大学校人文力量強化(CORE)事業団日本研究センター共催, モンゴル・ウランバートル市(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西郡仁朗
2. 発表標題 アジアと日本の将来を担う看護・介護人材の育成と日本語教育
3. 学会等名 "ASIAN COMMUNITY LECTURES - Development, Cultural, and Social Change in Asia", One Asia Foundation & Padjadjaran University, Indonesia. (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小平めぐみ
2. 発表標題 自立支援介護実践研修会
3. 学会等名 社会福祉法人光道園（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小平めぐみ
2. 発表標題 介護力向上フォローアップ研修
3. 学会等名 社会福祉法人石川県社会福祉協議会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小平めぐみ
2. 発表標題 介護力レベルアップ研修
3. 学会等名 福井県老人福祉施設協議会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小平めぐみ
2. 発表標題 介護職員のための自立支援介護研修
3. 学会等名 一般社団法人日本自立支援・パワーリハ学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

## 〔図書〕 計3件

1. 著者名 神村初美（編）神村初美、西郡仁朗、小平めぐみ、宮崎里司、三橋麻子、丸山真貴子、登里民子他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 346
3. 書名 『介護と看護のための日本語教育実践－現場の窓から』	

1. 著者名 遠藤織枝、三枝令子、神村初美	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大修館書店	5. 総ページ数 129
3. 書名 利用者の思いにこたえる 介護のことばづかい	

1. 著者名 宮崎 里司、西郡 仁朗、神村 初美、野村 愛	4. 発行年 2018年
2. 出版社 くろしお出版	5. 総ページ数 291
3. 書名 外国人看護・介護人材とサステナビリティ：持続可能な移民社会と言語政策	

## 〔産業財産権〕

## 〔その他〕

2018年度	「アジアと日本における外国人材の雇用と定着を考える－インドネシア人の労働と定着促進のための連携・教育研究会 in Bandung」（海外 国際セミナーの開催：日本側代表 事務局長）インドネシア バンドン 於：インドネシア教育大学 <a href="https://bandung090809.wixsite.com/kuramoto/home">https://bandung090809.wixsite.com/kuramoto/home</a>
2018年度	国際厚生事業団平成30年度EPA介護福祉士スキルアップ研修（講師） 「介護の敬語とオノマトへの使い方」
2018年度	早稲田速記専門学校「外国人就労者の指導担当者講座（入門）」（講師） 於：早稲田速記医療福祉専門学校
2018年度	学内誌掲載 東京福祉大学 Voyage 大海へ2018.春号「外国人医療福祉人材の日本語教育について」
2019年度	「おのまこと」デモンストレーション 「EPA 介護福祉士候補者対象 日本語講座」2019 年度首都大学東京オープンユニバーシティ
2019年度	国際厚生事業団平成31年度EPA介護福祉士スキルアップ研修（講師） 「報告業務でのより適切な日本語表現について ～説明のことばと敬語～」
2019年度	アルク 「日本語ジャーナル」 2020-01-23 電子版掲載 「介護・看護の日本語教育の現状と課題」 <a href="https://nj.alc.nihongo.jp/entry/20200123-kaigo-kanngo">https://nj.alc.nihongo.jp/entry/20200123-kaigo-kanngo</a>

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	西郡 仁朗  (NISHIGORI Jiro)  (20228175)	東京都立大学・人文科学研究科・教授    (22604)	
研究分担者	小平 めぐみ  (KODAIRA Megumi)  (00611691)	国際医療福祉大学・医療福祉学研究科・准教授    (32206)	